

「八潮市内公共施設の利用再開等に向けた基本方針」及び公益社団法人全国公民館連合会による「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等を踏まえ、三密（密閉・密集・密接）を回避する対策を講じたうえで、施設の利用を許可する。

1) 対策

①接触感染リスクへの対処

- ・職員は、利用前後は毎回、ドアノブ、電気スイッチ、窓の鍵、机・椅子等を消毒する。
- ・利用者に手指の洗浄と消毒を依頼する。

②飛沫感染リスクへの対処

- ・利用者にマスクの着用と手指の消毒を依頼する。
- ・窓口カウンターに、ビニールカーテンを設置する。
- ・公民館の職員が館内の事務室以外で対応する場合は、フェイスシールドを着用する。

③三密の回避

- ・1時間に10分程度を目安に、こまめな換気を徹底する。（密閉対策）
- ・部屋の利用は規定定員の50%以内とする。
（密着対策）
- ・男性用便器の利用は1つおきとする、視聴覚室における固定の座席は着席禁止のサイン対人距離の確保に努める。（密着対策）
- ・講座及びイベント開催の規模は、市主催イベント等の基本方針（令和2年5月26日）に基づき、屋内は100人以下、屋外については200人以下とする。（密集対策）

④感染経路対策及び注意喚起

- ・利用者に対し、公民館利用チェックシートへの記入を依頼する。
- ・窓口受付及び館内各所に、適宜、注意喚起の貼り紙を掲示する。

2) 利用条件・特記事項

①健康状態が優良である方みの利用とする。

利用者は、利用日に自宅で検温を行い、発熱や倦怠感等の健康状態を確認のうえ来館する。利用日までの2週間以内に感染者と濃厚接触のあった方は利用を控える。

②館内では、マスク又はフェイスシールドの着用を必須とする。

③部屋の利用は既定の定員の最大50%以内とする。

④利用者は、来館時に「公民館利用チェックシート」を記入し、公民館へ提出する。

⑤次のいずれかに該当する活動については、感染拡大のリスクが高いと考えられることから、「対人距離の確保」や「換気」を徹底するほか、さらに厳格な感染予防対策を講じたうえで利用を許可する。

活動内容・活動場所	対応例
<p>大きな声を出す活動、歌など</p> <p>(合唱、コーラス、詩吟、民謡)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシールドの装着 ・推奨定員以内での利用 ・対面で発声しない など
<p>呼気の激しくなるような運動及び行為</p> <p>(ヨガ・太極拳・体操・スポーツ吹き矢などの軽運動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシールドの装着 ・推奨定員以内での利用 ・口に触れる道具の消毒徹底 など
<p>接触を伴う活動</p> <p>(社交ダンス、フォークダンス、着付け、茶道、囲碁、将棋など)</p> <p>(着付け、茶道、囲碁、将棋など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスは、シャドウ練習で対人距離を確保 ・茶道は、作法としての飲食のみ可 ・会話を控える
<p>調理を伴う活動</p> <p>(料理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道具等の消毒の徹底 ※消毒を徹底するために夜間の利用は休止 ・原則、料理は持ち帰る。但し、料理の内容により食中毒が発生しないよう食べきる必要がある場合は会話を控える
<p>フリースペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的な休憩のみ可とし、複数名での談笑は控える ・十分な対人距離の確保 など